

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	公衆衛生学				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	4月～5月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	保健師	実務経験	実務経験あり		
科目目的	公衆衛生に関連する統計情報をふまえ、組織的な保健活動について理解する。				
学習目標	1. 公衆衛生の概念、しくみ、歴史、現状を理解し、グローバルな視点で公衆衛生の在り方を考察できる。 2. 公衆衛生分野における看護職の役割を理解できる。				
回	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション 公衆衛生の概念、公衆衛生の歴史				講義
2	公衆衛生のしくみ、国際保健				講義
3	集団の健康とらえる手法 疫学・保健統計				講義
4	環境と健康				講義
5	感染症対策とその予防対策				講義
6	地域における公衆衛生の実践。				講義
7	学校保健、学校保健の展開、養護教諭 職場と健康、産業保健活動の実際 健康危機管理・災害保健 まとめ				講義
8	筆記試験				
使用教材	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度② 公衆衛生 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版				
参考文献	公衆衛生がみえる メディックメディア				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	社会福祉				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	4月～9月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	介護福祉士	実務経験	実務経験あり		
科目目的	社会福祉と医療・社会保障の関連及び社会福祉行政について理解する。				
学習目標	社会保障・社会福祉の制度やそれを担う体制、社会福祉行政の関連について理解するとともに、その活用について学びを深め、臨床現場で必要とされる他職種との連携に役立てることができるようになる。				
回	授業内容				授業方法
1	オリエンテーション、社会保障制度				講義
2	社会保障制度、社会福祉の歴史				講義
3	社会福祉の法制度、現代社会の変化				講義
4	社会保障・社会福祉の動向、医療保障				講義
5	医療保障				講義
6	医療保障、所得保障				講義
7	所得保障				講義
8	公的扶助				講義
9	公的扶助、高齢者福祉				講義
10	介護保障				講義
11	介護保障、障害者福祉				講義
12	障害者福祉				講義
13	児童家庭福祉				講義
14	社会福祉実践と医療・看護				講義
15	試験				試験
使用教材	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 健康支援と社会保障制度③社会保障・社会福祉 医学書院 2. 国民衛生の動向 厚生労働統計協会 最新版 3. 社会福祉士 国家試験ナビ2018				
参考文献	1. 介護福祉士国家試験受験ワークブック 中央法規 2. 新・介護福祉士養成講座 社会と制度の理解、介護の基本 I・II 中央法規 他				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	看護関係法規				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	10月～1月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	保健師 看護師(医療安全管理者) 他	実務経験	実務経験あり		
科目目的	保健師助産師看護師法並びに看護実践に必要な基礎知識として関係する諸法規について理解する。				
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護関連法令を学ぶことにより健康を守る看護職の役割を考えることができる。 2. 専門職業人として医療安全に対する責務と必要性が理解できる。 3. 医療事故発生要因とその傾向を理解する。 4. 医療事故防止対策を理解し安全な医療提供について考えられる。 				
回	担当	授業内容	授業方法		
1	保健師	法の概念	講義		
2		看護法	講義		
3		医事法	講義		
4		社会保険法	講義		
5		労働法と社会基盤整備	講義		
6		看護関係法令のまとめ	講義		
7	介護福祉	福祉法	講義		
8	看護師	医療安全の基本的な考え方を学ぶ	講義		
9		患者に投与する業務における事故防止 注射・輸血	講義		
10		患者に投与する業務における事故防止 内服与薬・経管栄養	講義		
11		療養上の世話における事故防止	講義		
12		業務領域を超えて共通する間違いと発生要因	講義		
13		医療安全体制への取り組みと医療安全対策の展望	講義		
14		グループワーク	グループワーク		
15		試験			
使用教材	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院 統合分野 医療安全 看護の実践と統合② 医学書院				
参考文献	医療安全ワークブック 医学書院 リスクマネージャーのための医療安全実践ガイド 日本看護協会出版会 病院安全教育 日総研				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		労働と健康			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	10月～12月
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	事務長 専任教員	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	社会の変化と発展の経緯から勤労者の健康と福祉について理解する。				
学習目標	1. 社会の変化と発展の経緯から勤労者の健康と福祉について理解する。 2. 勤労者の健康と労働について学び、治療と就労の両立支援について理解できる。				
回	担当	授業内容			授業方法
1	事務長	労働衛生(産業保健)の理解			講義
2		労働衛生の歴史、労働者の健康障害、わが国における労働衛生の現状			講義
3		労働衛生行政 労働衛生行政の組織、労働衛生関連法規と労働衛生の展開			講義
4		労働衛生の課題と対策 職業性疾病の予防、労働者のメンタルヘルス、過重労働による健康障害対策、女性労働者の健康管理、THP、安全衛生管理 独立行政法人労働者健康安全機構の役割 機構の目的、機構の業務			講義
5	専任教員	1. 勤労者の看護・方法論 1) 勤労者看護の定義と対象範囲 2) 勤労者看護の役割			講義
6		2. 職場復帰支援制度 1) 職場復帰支援制度が求められる背景 2) 事例をもとに考える 3) 職場復帰支援制度の現状			講義
7		3. 治療と就労の両立支援～がん治療を中心に～ 1) 「がん治療」を中心に説明する理由 2) 事例を用いて両立支援を考える			
8		4. 看護師に求められるがん患者の就労支援とは 1) 看護とがん患者の就労(仕事)患者にとってのがんと仕事 2) 就労支援につながる看護ケア 3) 就労支援に必要な知識 労働にまつわる法律、お金や医療保険にまつわる制度 4) がんの局面ごとの支援のポイント がんサバイバーシップと就労支援、治療期の支援			グループワーク
		V. 事例から見るがん患者の就労支援 いくつかのケースを提示し、個人ワークとグループワークから就労支援の実際を考える			試験
		筆記試験			
使用教材	勤労者医療概論 独立行政法人労働者健康福祉機構 勤労者医療カリキュラム検討委員会著				
成績評価の方法	筆記試験、課題の取り組み、授業態度を含めて総合的に評価する				

科目名		健康教育技法			
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	4月～7月
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	臨床実務経験あり		
科目目的	勤労と傷害・疾病について理解し、疾病をもった勤労者に対して、自己管理できるための教育方法を習得する。				
学習目標	<p>単元:健康教育の基本</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康教育およびセルフマネジメントとは何かを理解する。 2. セルフマネジメント支援のために必要な構成要素について理解する。 3. セルフマネジメントのための対象理解に活用できる用語・概念を理解する。 (本人と病気の位置関係、病みの軌跡、健康信念モデル) 4. セルフマネジメントを推進していくうえでの看護師の役割、看護方法、プロセスを理解する。 5. グループワークを通して、本科目及びこれまで学習してきた知識を関連・統合していく力を養う。 <p>単元:健康教育の実践</p> <p>健康教育に関する理論を事例に適用して考察することで、理論について理解を深め、疾病をもった勤労者に対して自己管理できるよう支援するための教育方法が理解できる。</p>				
回	担当	授業内容			授業方法
1	専任教員	<p>◆ 講義のガイダンス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康教育の基本的な考え <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康教育の定義と目的 2) 対象者の心理に働きかけ行動変容を促す 3) 対象者の理解の重要性 4) 「環境」への働きかけ 5) 「モニタリング」の重要性 6) 健康教育における「評価」 			講義
2		<ol style="list-style-type: none"> 2. 健康行動理論・健康教育に有用な概念 ～これまで学習していない理論・概念を中心に～ <ol style="list-style-type: none"> 1) 理論・モデル活用の有用性 2) 本人と病気の位置関係の4つのモデル 3) 健康信念モデル 4) 病みの軌跡 			講義 ペアワーク
3		<ol style="list-style-type: none"> 3. 健康教育の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1) 系統学習と問題解決学習 2) 集団討議+集団決定(グループダイナミクス) 3) 健康教育の手順 			講義
4		<ol style="list-style-type: none"> 4. セルフマネジメント支援～成人看護学概論の講義を振り返る～ <ol style="list-style-type: none"> 1) セルフマネジメントと社会的背景 2) 知識と技術の提供 3) セルフマネジメントのための主要概念 4) セルフマネジメントの支援で支障となる事 5) “傾聴”についてロールプレイ 6) セルフマネジメントの過程 ～対象理解・援助方法・評価の仕方～ 			講義 ロールプレイ ペアワーク
5		<p>◆ 5回目講義以降 グループワークについての説明</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 演習(グループワーク) <ol style="list-style-type: none"> 1) 1事例についてDVD視聴 2) 3側面から対象を理解し、“病みの軌跡”を用いて事例についてアセスメントする 3) 以下の2点について検討し発表準備を行う。発表はP.Pを使用し、ロールプレイを取り入れる。 <ol style="list-style-type: none"> ① エンパワメントするアプローチや、セルフマネジメント支援に必要な情報とアセスメント…3G 			グループワーク

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

回	担当	授業内容	授業方法
6 ・ 7		②共同目標の設定、アクションプラン設定への援助…3G 6. 演習(成果発表) 1)場面ごとにグループ発表 2)質疑・応答 3)教員よりまとめ 7.成果に対する他者評価と振り返り	グループ発表と 質疑応答 個人ワーク
1 2 ～ 7 8	専 任 教 員	本単元の進め方についてオリエンテーション 1. 健康教育に関する理論の復習 1)健康信念モデル 2)アンドラゴジー 3)トランスセオリティカルモデル(変化のステージモデル) 2. 個人学習と協同学習 * クラスをいくつかのグループに分ける * 各グループにおいて、各学生は健康信念モデル・アンドラゴジー自己 効力理論・トランスセオリティカルモデル(変化のステージモデル)のいず れかを担当する。 <協同学習> ★2～6回目 ①各グループの担当学生(健康信念モデルなど)が集まる▶以下「専門 家チーム」と呼ぶ。 ②「専門家チーム」は過去の学生が実際に受け持った事例について、理 論を適応し患者の状態や必要な援助について講義時間と空き時間を活 用して検討する。 ★7回目 ③各グループの担当学生がリーダーシップを発揮し、患者の事例紹介・ 理論の使い方、患者の状態と必要な援助について、各グループ内で説明 する。各メンバーは、疑問点・不明点を担当学生に確認したり、グルー プで検討し、解決に向ける。	講義 個人学習と 協同学習
	使用教材	単元:健康教育の基本 1. ナーシンググラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント メディカ出版 DVD 看護のためのアセスメント事例集 vol. 9 肝硬変症患者の看護事例 単元:健康教育の実際 1. ナーシンググラフィカ 成人看護学③ セルフマネジメント メディカ出版 2. 野川道子 看護実践にいかす中範囲理論 第2版 メヂカルフレンド社	
	参考文献	単元:健康教育の基本 1 系統看護学講座 専門Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学① 医学書院 2 松本千秋:健康行動理論の基礎 医歯薬出版 3 足達 淑子:行動変容をサポートする保健指導バイタルポイント 医歯薬出版 4 松本 千明:健康教育パワーアップガイド 効果を高める32のヒント 医歯薬出版 5 安酸 史子;わかる!使える!やる気を高める!糖尿病患者のセルフマネジメント教育 エン パワメントと自己効力 MCメディカ出版 単元:健康教育の実際 松本千明 医療・保健スタッフのための健康行動理論の基礎 医歯薬出版株式会社 松本千明 医療・保健スタッフのための健康行動理論 実践編 医歯薬出版株式会社	
	成績評価 の方法	単元:健康教育の基本は50点(紙上試験35点+課題への取り組み15点)、単元健康教育の 実際は50点の合計100点満点とし、6割以上をもって単位認定とする。	

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		メンタルヘルスマネジメント				
科目分類	専門基礎分野	履修年次	2年次	履修時期	11月～2月	
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間	
担当教員	医師(女性外来勤務) 心理判定員	実務経験	実務経験あり			
科目目的	メンタルヘルスの概念を理解し、ストレス社会における勤労者の心の健康を支えるためにセルフケアスキルを習得し、活用法を学ぶ。					
学習目標	1. 職場のメンタルヘルスについて理解を深めることができる 2. 勤労者を取り巻く環境を学ぶ 3. メンタルヘルス不全(精神疾患)の予防方法や対応方法、話の聴き方などをロールプレイ等を通じ習得する					
回	担当	授業内容			授業方法	
1	医師	メンタルヘルスの成り立ち			講義	
2	医師	職場におけるメンタルヘルス			講義	
3	心理判定員	メンタルヘルスマネジメントについて			講義	
4		働く人のストレスについて			講義	
5		メンタルヘルスマネジメント・リラックス法			講義	
6		メンタルヘルスマネジメント・リラックス法			実技	
7		メンタルヘルスマネジメント・リラックス法			実技	
8		事業所での啓発行動の実際			実技	
9		話しの聴き方について 1. パールズのゲシュタルト療法 2. エリスの論理療法			講義	
10		パールズのゲシュタルト療法の技法 エリスの論理療法 技法			講義 ロールプレイ	
11		話しの聴き方について			ロールプレイ	
12		事例検討			講義	
13		自殺について			講義・演習	
14		まとめ			ロールプレイ	
15		筆記試験			試験	
使用教材		1. 勤労者医療概論(独立行政法人 労働者健康安全機構~勤労者医療に関する看護プロジェクト編著) 2. あなたのストレスを減らす!!もう高ストレス者と呼ばれたくない 交流分析 わかりやすいTA フジメディカル出版				
成績評価の方法		筆記試験				